

第 95 回メーデー宣言（案）

石川県能登半島での大地震発生から 118 日目となる本日、第 95 回メーデー中央大会を開催した。改めて、亡くなられた方々に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、被災された方々、いまだ避難生活を続けておられる方々に、心からお見舞いを申し上げる。そして、一日も早く平穏な日々が取り戻せるよう心から願う。

私たちは、これまでも、これからも、「支え合い・助け合い」の心を一つに、被災地・被災者に寄り添った支援活動に取り組んでいく。

世界は「分断と対立」の道を突き進んでいる。未だ終結の見えないロシアによるウクライナ侵略や度重なる北朝鮮によるミサイル発射など、平和と秩序を武力で破壊する暴挙を決して許してはならない。さらに、ミャンマー軍事政権による市民への弾圧、パレスチナ自治区ガザにおける人道危機の深刻化など、人類普遍の価値たる人権が脅かされている。連合は、I T U C をはじめとする世界の働く仲間との国際連帯を強め、世界平和の実現と自由で民主的な世界の構築に向けて行動していく。

2024 春季生活闘争は、労使の真摯な交渉の積み重ねにより、これまで多くの組合で昨年を上回る賃上げを獲得している。デフレマインドを完全に払しょくし、新たな経済社会のステージへ転換する正念場において、私たちは大きな一歩を踏み出した。私たちには職場を、そして社会を変える力がある。未来づくりへの社会的責任を自覚し、先行組合の勢いを後続の中小組合や組合のない職場へと波及させ、すべての働く仲間の生活向上につなげていく。

そして、日本の持続可能性に関わる構造的な課題の解決も待ったなしである。私たちは「働くことを軸とする安心社会 一まもる・つなぐ・創り出す」の実現に向けて、政策課題の改善に真正面から取り組み、ジェンダー平等の推進はもとより、さまざまな人たちとの対話と集団的労使関係を社会に広げる取り組みを進めるとともに、働く者・生活者の立場にたった政治勢力の結集・拡大をめざす。

今こそ、私たちの連帯の力で、平和と人権が尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる社会を、そして一日も早い被災地の復旧・復興を実現しよう。

以上、ここに宣言する。

2024 年 4 月 27 日
第 95 回メーデー中央大会